

「看護の日」キャラクター

【重点事業 2-3】 看護師の生涯学習支援体制の構築

重点政策・重点事業などの必要性について「看護の日」キャラクター「かんごちゃん」からの質問に、分かりやすく回答します。



どうして今「生涯学習支援体制の構築」を進めているの？

近年、看護職は、さまざまな組織・領域への転職やライブイベントなどによる休職を経験しつつ、長い期間活躍する人が増えています。また、新型コロナウイルス感染症への対応では、看護職が感染管理や医療安全に関する最新の知識を持つ大切さが浮き彫りになりました。さまざまな組織・領域で質の高い看護を提供し活動を続けるためには、看護職一人一人が、生涯を通じて主体的に学び続けていくことが大変重要です。そこで日本看護協会は、人々のニーズに応える専門職としての看護職個人の学びをこれまで以上に支援するため、継続教育事業の見直しに着手しました。現在、看護職一人一人の学びとキャリア形成を支援する取り組みの一環として、生涯学習ガイドラインや、具体的な取り組みを支援するガイド（仮称）、学びの指標となる「看護師に求められる能力」と、その能力に基づく学習項目および習熟段階（ラダー）を作成中です。これらは2022年に皆さまから募集した意見も踏まえ修正し、2023年6月頃に公表予定です。その他の取り組みも併せて、今後、順次情報提供してまいります。

看護職自身や社会の変化から、生涯を通じて学ぶための体制を考えているんだね！



なぜ、生涯を通じて学び続ける必要があるの？

1つは、知識や技術を最新のものに更新する必要があるからです。近年、慢性疾患や複数の疾患を抱える人の増加に加え、人々の生活や価値観も多様化し、看護へのニーズも複雑化・多様化しています。また、看護・医療等のケアに関わる知識・技術は、日々進歩しているので、学生や新人の頃に学んだ知識や技術のみでは、適切なケアを行うことは困難です。2つ目には、看護職として活躍する中で、初めて経験する役割を担う場合や、活動する組織・領域が変化した際には、新たに必要となる知識などを自ら学ぶことが重要で、日々の看護実践の質に直結するためです。このように、一度学んだことの学び直しや、新たに経験することに関連した生涯学習を行い、能力を開発・維持・向上させることが、その時代の看護の水準や目の前の対象者に合った適切な看護の提供につながります。看護を提供することには責任が伴うので、学び続けることは、看護職として活躍する自分自身を支えるためにも大切です。学ぶことは重要で、「看護職の倫理綱領」に加え、保健師助産師看護師法等の法律にも明記されています。

目の前の人に適切なケアを提供するためにも、学び続けるって大事なんだ。



でも、生涯学び続けるって、すごく大変そうだね……。どうすればいいの？

生涯学び続けるための方法は、研修受講に限りません。日々の看護実践を通じて得た経験と振り返り、同僚や他職種との多様な学び合いといった実践の中での学習など、さまざまな方法があります。また、生涯学習の目的は人々に適切で質の高い看護を提供するためですが、自分自身が生涯学習にどう取り組むか具体的に考える際には、看護職として今後どのように活躍したいかという将来の希望も踏まえ、計画を立てて取り組みます。他の人と同じである必要はなく、それぞれに適したペースや学び方で進めましょう。生涯学習の支援は、看護協会、ナースセンターなどでもさまざま行っています。また、今働いている職場で求められる能力なども踏まえ生涯学習することで、日々看護を提供する対象者への適切で質の高い看護と、自身のキャリア形成を効果的に両立できるので、職場の管理者や教育担当者にも相談してみましょう。また、ライブイベントなどにより看護の仕事と離れている間も、可能な範囲で情報に触れるなどの生涯学習を続けることで、その後のキャリア形成につながります。

自分の希望や状況に応じて、さまざまな支援を活用しながら学んでいくんだね！

日本看護協会では、研修や学会、図書館サービス等、生涯学習を支援するためのさまざまな取り組みを行っています。詳細は、右記二次元コードでご確認ください。

